

第7回 小中高一貫教育総会【4月19日（月）於：浄るりシアター】

総会の概要

- 1、あいさつ 能勢町教育委員会 教育長 前田 満
- 2、来賓あいさつ 大阪府教育委員会 高等学校課参事 松本 昇様
- 3、来賓及び能勢町教育委員会紹介
- 4、大阪府優秀教職員表彰「小中高一貫教育健康教育担当者会」
功績：能勢町小中高一貫教育健康教育担当者会は能勢の子どもたちの食生活に目を向け、小中高を連携させた食教育の取組みをすすめた。毎年度「朝食メニューコンテスト」を開催し、そのグランプリが能勢町「道の駅」のレストランメニューに採用されるなど、学校だけでなく地域も巻き込んだ活動を展開し、食についての関心を高めた。
- 5、新任・転任者紹介を中心に学校紹介
- 6、成果報告 平成21年度能勢高校卒業生の報告
関西大学経済学部へ進学して・・・ 田代浩也さん
(久佐々小⇒西中⇒能勢高校)
追手門大学経済学部へ進学して・・・ 辻 直弥さん
(歌垣小⇒東中⇒能勢高校)
- 7、能勢町における小中高一貫教育とは
- 8、教科別担当者会
 - ①教科代表の決定
 - ②小中高の教科内容の交流



総会のまとめ

総会の目的は、「能勢の宝である『子どもたち』を学校・家庭・地域・行政が一体となって育てる。この目的を達成するために、各学校での連携がスムーズに進むよう、年度当初に能勢町の全教職員が顔合わせをし、昨年度の活動をもとに、本年度の活動予定等の共通認識を図る。」です。

能勢地域小中高一貫教育は、「連携」がキーワードです。連携を積極的に推進することにより教育効果を生み出すことに挑戦してきました。そして、学校間はさらに一貫した教育となるよう連携を密にし、異校種間のつながりについて研究を深めてきました。総会はこのような研究を推進するために欠かせない大切な場として毎年開催しています。

今年度は、これまでの取組みを確認するために小中高一貫教育の取組みと理念を再確認しました。子どもたちの現状（若者の流出と青年層の確保）を知り、能勢で育ったことを誇りに思える教育と小中高一貫教育のつながりについて取り組んできたことを確認、そして更に能勢の特性を生かした教育づくりについて今後の方向性を提起し、能勢町小中高の教職員で共通認識することができました。そして、この取組みの中で成長していった田代さんと辻さんから12年間を振り返っての話を聞くことができ、これまでの成果を確認することができました。

教育はロングレンジで捉えることが大切です。成果はすぐにはあらわれるものではないからこそ子どもたちの成長を小中高の教職員がつながって支えることが教育効果につながります。そして、目先のことだけにとらわれないで子どもと向き合うことができるのが小中高一貫教育のメリットです。教職員のつながりをより強固にすることができる総会でした。